## 国際化学肥料ニュース (2011年11月)

### 肥料業界の 2011 年 11 月動態

- \* 11 月上旬、IFA (国際肥料工業会)主催、中国海洋石油と中化化学肥料賛助の「2011年 IFA アジア太平洋地域大会」が中国海南省三亜市で開催された。会議の主題は「アジア地域農業の化学肥料需給関係」であった。中国の化学肥料輸出関税政策については、来年からさらに強化される可能性が高いこと、インドの化学肥料補助政策が緩和される可能性と将来尿素が自給できる見通しが話題になった。また、中国政府の輸出関税の強化が化学肥料の国際市場価格に与える悪影響に懸念する出席者も多い。
- \* アジア市場における塩化加里の需要が旺盛で、値上げ傾向が強くなる。ヨルダンの APC は 10 月からすでに CFR535 ドル/トンの価格で 2 万トン塩化加里を販売した。 11 月、インド IPL がカナダの Canpotex から新たに 18 万トン塩化加里を購入することにより、今年のインド加里肥料輸入量が 600 万トンに達する可能性が出た。なお、インド今年前半の輸入価格は CFR470 ドル/トンで、後半の輸入価格は 530 ドル/トンに上がった。
- \* 今年6月から生産開始したサウジアラビア鉱業 (SAMC) の DAP プラントは順調に稼働している。11月だけで3船の DAP をインドに輸出した。
- \* オーストラリア South Boulder 鉱業は東アフリカのエリトリア Colluli 地域で探鉱中の加里資源について新たな鉱脈を見つけたと発表した。これにより、当該地域での加里資源埋蔵量が 5.644 億ドンに達し、塩化加里平均含有量 18.6%、特に露天採掘に適する浅い鉱脈の埋蔵量が約 1.3 億トン。2016 年から露天採掘で年間 100~200 万トン加里鉱石を産出する予定。

# 大手各社の営業業績

- \* ブラジルヴァーレ社は今年第3四半期化学肥料部門の業績を公表した。売上高10.37億ドル、第2四半期より20%増、粗利率8%。内訳は窒素肥料販売額2.16億ドル(第2四半期より12%増、以下同)、りん酸肥料7.13億ドル(22%増)、加里肥料0.8億ドル(18%増)、その他の肥料0.28億ドル。
- \* ベラルーシ加里 (Belaruskali) は今年  $1\sim9$  月の塩化加里輸出量が 610 万トン、前年同期より 14.4%増。今年の輸出量が 690 万トンを予定している。また、当該社は加里増産のために  $1\sim9$  月に 2.06 億ドルを投資した。
- \* チリ SQM は今年第3四半期の営業利益1.53億ドルで、1~9月の営業利益が4.26億ド

ルに達し、昨年同期より19.4%増。

## 肥料プラント新規建設

- \* ブラジル Heringer 社はブラジル南東部 Viana にある BB 肥料工場に 900 万ドルを投資し、生産能力を 30 万トン/年から 40 万トン/年に拡大する。これにより、Heringer 社の BB 肥料と化成肥料の生産能力を 580 万トン/年に達する。Heringer 社は全国に 19 の肥料工場があり、国内市場シェアは 16%であった。
- \* 世界銀行傘下の IFC (国際金融公社) はカナダ MBAC 化学肥料の株式 11.1%を 3200 万ドルで購入した。MBAC はこの資金をブラジルの過りん酸石灰プロジェクトの建設資金に充てる予定。当該過りん酸石灰プロジェクトは新規りん鉱山の開発と過リン酸石灰肥料工場の建設から成り、2012 年完成後、過りん酸石灰肥料 50 万トン/年の生産能力を有する。IFC は別途に 4000 万ドルの貸出しも行った。また、2015 年にさらに生産能力を倍増する計画である。
- \* ロシア Acron Group 傘下の NWPC (北西りん酸肥料) はロシアムルマンスク州 (Murmansk) の Oleniy Ruchey にりん鉱山を建設する。2012 年上半期が完成する予定の第 1 期目標は年間 100 万トンりん鉱石を生産する。また、第 2 期目標は 100 万トン/年のりん鉱石選鉱設備を増設する。総投資額 6 億ドル予定。

同じ Acron Group 傘下の VPC 加里はベルミ州 Talitsky における加里鉱山の建設が開始した。2016 年生産開始、2018 年全部完成する予定。完成後、年間 800 万トンの加里鉱石を採掘、200 万トンの塩化加里を精製する生産能力を有する。総投資額 16 億ドル。

- \* カメルン国営石油天然ガス公社 (SNH) はカメルン沖の天然ガスを原料とするアンモニアと尿素工場の事業化可能性の検討を始めた。工場の生産能力は年間 60 万トンアンモニアと 70 万トン尿素、場所と技術工程等の選定をドイツ Ferrostaal AG 社に依頼する。カメルンは化学肥料の年間需要量が約 45 万トン、国内に肥料工場がなく、すべて輸入に依存する。2010 年の化学肥料輸入量が 12.89 万トンであった。
- \* 11月5日、ベトナム石炭鉱産公社 (TKV) 傘下の石油化学工業社 (Vinacomin) は Thai Binh 省 Thai Thuy 県に硝安工場の建設を始動した。工場はドイツの技術を導入し、生産能力が年間 20 万トン硝安、投資額 2.8 億ドル、2014 年 3 月完成する予定。
- \* 双日、住商、三菱重工、東洋エンジニアリングから組成した共同企業体がアンゴラの地 質鉱山工業省からアンモニアと尿素工場の基本設計や環境調査を受注した。工場はアン

ゴラの首都ルアンダから北に約 300km のザイーレ州に建設する予定。生産能力は年間 66 万トンのアンモニアと 58 万トンの尿素。2012 年着工し、2015 年末にも生産を始める。投資額 13 億ドル。

- \* エジプト KIMA 社は新たに尿素プラントの建設に着手した。生産能力は年間 40 万トン アンモニアと 55 万トン尿素、2014 年 7 月末完成予定、投資額 5.4 億ドル。基本設計と 技術、設備選定はイタリアの会社に依頼する。また、該社はイタリアとの間に肥料用硝 安プラントの建設に関する意向書も締結した。
- \* ニュージランド Chatham りん鉱石社 (CRP) はニュージランド南島近海のりん鉱石の 開発に着手する。CRP はまず 6 ヶ月間で工程設計、物流、環境影響等を検討し、その 後最終設計、建設に入る。現在ニュージランドのりん鉱石がすべて輸入に依存して、昨年の輸入量が 89.3 万トン。最大の輸入先はモロッコで、50.3 万トンであった。
- \* 11月24日、ベトナム Ninh Pinh 県にある金鴎尿素工場が計画通りに完成し、稼働開始 した。当該工場は年間生産能力80万トン尿素、投資額9億ドル。この尿素工場の完成 により、2012年からベトナムの尿素が自給できる見通しとなった。

#### その他

- \* ブラジルヴァーレ社は 13 億ドルの現金で、子会社 Vale Fertilizantes S.A.の余剰株式を 買収し、完全子会社にすると発表した。目下、ヴァーレは Vale Fertilizantes S.A.株式 の 68%を所有しているが、買収により、Vale Fertilizantes S.A.は上場廃止となる。
- \* ノルウェイ Yara は傘下の Yara ブラジル化学肥料の株式を全部売却すると発表。目下、Yara は Yara ブラジル化学肥料の株式 98.54%を所有している。Yara ブラジル化学肥料はブラジル南部にりん酸肥料工場を持ち、年間 85 万トン過りん酸石灰と重過りん酸石灰を生産している。また、7ヶ所に BB 混合肥料工場を有する。2010 年の化学肥料販売量 230 万トン、売上高 10.4 億ドル、ブラジル国内市場シェア約 10%
- \* モロッコ OCP は 9 月の DAP 輸出量 19.4 万トン、1~9 月輸出量が 163.5 万トンに達した。主な輸出国はインド (34.5 万トン)、ブラジル (18 万トン)、アメリカ (11.6 万トン)。また、9 月の MAP 輸出量 10 万トン、1~9 月の輸出量 100 万トン、ほとんどブラジル (70 万トン) に輸出した。
- \* 11 月 23 日、オーストラリア政府が提出した鉱産物資源税法案を議会下院で可決した。 法案の主な内容は、鉄鉱石と石炭に対して資源税を徴収し、その税率は販売価格の 30%

とする。当該法案は来年初めに議会上院に提出し、可決する場合は7月1日から実施する。

- \* インド政府は10月25日からイスラエルと台湾原産のりん酸に対して不当廉売を仮決定し、不当廉売関税を徴収する。不当廉売関税の税額はイスラエル産に対してトン当たり236.83~260.26ドル、台湾産に対して116.25ドルである。インド政府は2011年2月から上記2国原産のりん酸に不当廉売に関する調査を開始した。
- \* 11月18日、ロシアの連邦備蓄銀行(Savings Bank of the Russian Federation)とユーラシア開発銀行が共同でベラルーシ加里(Belaruskali)に10億ドルの資金を提供する。ロシア連邦備蓄銀行が9億ドル、ユーラシア開発銀行が1億ドル、貸出期間1年、担保はベラルーシ加里の資産である。ベラルーシ政府は財政困難で、この資金で一息つく。
- \* ロシアの Phos Agro は傘下の 2 社 (Ammopho 社と Cherepovets Azot 社)を合併させる計画。合併は 2012 年 7~8 月に予定される。Ammopho 社は DAP、MAP、化成肥料を生産し、年間 100 万トンりん安の生産能力を有する。Cherepovets Azot 社はアンモニアプラント 2 ラインを有し、年間生産能力はそれぞれ 53.78 万トンと 51.15 万トン。Ammopho 社のりん安生産に必要なアンモニアを提供している。合併により、生産コストが下がり、競争力が向上する。将来、同じ子会社の Agro-Cherepovets も合併させる予定。
- \* スイスの Ameropa はローマニアの化学肥料大手 ATM を買収する可能性が高い。ATM は年間 60 万トンアンモニア、33 万トン硝安、39.6 万トン硝酸アンモニウム石灰、38.8 万トン尿素、60 万トン尿素硝安液肥、28.5 万トン化成肥料。2010 年売上高 2.85 億ユーロ、純利益 3600 万ユーロ。
- \* カタールのアンモニアと尿素生産量が大幅増加。2010 年国営カタール化学肥料 (QAFCO) のアンモニア生産量が227万トン、53.9万トンが輸出、主要輸出先はインド。尿素生産量が301万トン、283.2万トンが輸出、主な輸出先はオーストラリアとアメリカ。アンモニアと尿素の生産量がアラブ諸国の第3位、アンモニア輸出量が第4位、尿素輸出量が第3位。